

令和6年度第1回西こじょう会同好会代表者会議報告書

日時： 令和6年5月11日(土) 13:15～14:40
場所： 天神山福社会館 第2集会室
出席者： 角田会長，早川(明)，犬飼，中村，松岡，石田，馬場，早川(よ)
<敬称略> 写真; 犬飼，グラウンドゴルフ; 細川，おもちゃ病院; 岩尾，写経; 安藤代理，健康; 木全，
西雀友会; 塚田，出かけて観る会; 馬場，青春18きっぷ会; 細川

議 事： 1. 角田会長挨拶

昼過ぎに集まって頂き有り難うございます。今日は宜しく申し上げます。

2. 早川 総務委員長

昨年度退会された会員は12名で、今年度入会した37期生16名によって今日時点で114名の会員数になってます。37期の方々は同好会に興味を持って見えますので是非、確保するようにして下さい。

3. 各同好会報告

議題は令和6年度の活動目標、活動支援金の用途、要望等になります。

各同好会代表の主な報告内容は以下のようでした。

<写 真> 昨年度は2名が退会(一般者3名入会)され、今年度は37期1名の入会なので会員数は昨年通り(男10, 女9)。パソコンの勉強会を増やす。支援金はプロジェクター代の補助。

<グラウンドゴルフ> 91歳の方を頂点に21名の会員(男14名・女7名)です。37期3名が入会従って平均年齢は僅か低下。プレー後にランチ会を増やしたい。賞品補助に役立て。

<おもちゃ病院> 月2回の活動、預かるおもちゃは増えているが、会員は9名で変わらない。我々は年を重ねるが、おもちゃは年々高度化することに危惧している。

<写 経> 毎月この場所で、まず観念文を唱和してから写経に入る。会員20名。37期生1名が加わった。年末には毎年興正寺へ納経、支援金でお供えを準備する。

<西雀友会> 私は骨折などで休止してますが、活動は毎月第1,第4火曜日に行なわれてます。昭和区健康麻雀同好会と交流。支援金は麻雀大会の景品に使用。

<健 康> 会員は16名(男1名, 女15名)で西こじょう関係者はOB含めて7名。先生は一人で毎月指導を受ける。支援金は先生への謝礼に加える(お盆・正月)。

<出かけて観る会> 毎月第3金曜日に活動。出掛ける場所により、参加人数は大きく変動する。建物内の団体見学を中心に、名古屋市郊外にも足を伸ばす。

<青春18きっぷ会> 会員は22名。37期生は4名が入会。年に3シーズンの活動。人数が多いとランチ会場に苦勞する。年1回は一泊二日を企画。賞品代等の補助。

4. 要望、その他

新たな問題ではないが、どの同好会も一般入会者、OBが増える傾向になっている。西こじょう会会員は年会費を納め、会の運営にも苦勞してるのでメリットを感じづらい。鯨城学園を卒業したら、地域の活性化に寄与するという使命感を担う覚悟が培われているので、心の豊かさに繋がっている満足感でしかないのであろう。西こじょう会会員のみでは各同好会ともに成り立たない現実もある。各同好会規約を整備すると良い。

以上